

先天性サイトメガロウイルス感染症の少女と愛犬との実話を元にした、ユーモラスで感動的なストーリー。

書名：エリザベスと奇跡の犬ライリー  
著者：リサ・ソーンダース  
解説：森内浩幸、宋美玄  
訳：ナカイサヤカ

クラウドファンディング

4/25

まで!

クラウドファンディング実施中



[greenfunding.jp/thousandsofbooks/projects/4477](http://greenfunding.jp/thousandsofbooks/projects/4477)



知識があれば、悲しい結末も病気も防げたのかもしれない……

# 『エリザベスと奇跡の犬ライリー』を絵本にして広めたい!

先天性サイトメガロウイルス感染症による障害を持って生まれた少女と仲良しの犬をめぐる、実話に基づいた物語『エリザベスと奇跡の犬ライリー』。この絵本を制作し、日本ではまだまだ知られていないサイトメガロウイルスなどによる母子感染症についての認知を高めることで、その予防の一助とするためのプロジェクトです。

私たちが目指すのは、誰もが常識として母子感染予防の知識を持つことです。タバコやアルコールが胎児に悪影響を及ぼすことは日本人なら誰もが知る常識です。母子感染症についても妊娠する前から、結婚も妊娠も意識しないような、もっと若い時から知る必要があると思います。

「トーチの会」代表 渡邊 智美

先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会」代表。歯科医師。2011年春に先天性トキソプラズマ症の娘を出産したことをきっかけに、トーチの会を設立。

母子感染症の中でも、特に日本では認識されていないトキソプラズマやサイトメガロウイルスに関する知識を、少しずついいから世の中に広めていき、悲しい思いをする親子を減らしたいという思いで、妊婦健診におけるトキソプラズマ抗体検査・サイトメガロウイルス抗体検査の必須化や全妊婦への注意喚起、ワクチンや治療薬の国内開発・認可などをもとめて活動中。



絵本は、暖かな絵柄で人気のイラストレーター Uyo Takayamaさんによる書き起こし!

